

伊集院保健所感染症情報

2026年第40週（令和8年9月28日～令和8年10月4日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令！：インフルエンザ

管内流行発生警報発令！：手足口病

管内流行発生警報発令中：ヘルパンギーナ

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第37週	第38週	第39週	第40週	先週からの増減	第39週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	115.50	124.00	78.50	39.00	↘	42.67	↘
インフルエンザ	30	10	10	4.50	12.00	1.50	11.50	↗	6.82	↗
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.50	↗	0.44	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.61	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	7.00	7.00	3.00	6.00	↗	1.03	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	2.00	3.00	3.00	→	2.90	↘
水痘	2	1	1	0.00	4.00	1.00	0.00	↘	0.10	↘
手足口病	5	2	—	2.00	2.00	0.00	7.00	↗	0.16	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	2.00	0.00	↘	0.48	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	8.00	9.00	6.00	4.00	↘	0.45	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	3.00	3.00	10.00	8.00	↘	1.10	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC 定期検便検査で陽性と報告を受けた場合

検便検査は、食品業界・福祉施設・保育園などで定期的に行われる重要な衛生管理の一環です。

陽性反応が出て、必ずしも症状があるわけではなく「健康保菌者（不顕性感染者）」のケースもあります。しかし、菌を保持している以上、適切な対応をしなければ食中毒や感染症のリスクを高めてしまう可能性があります。

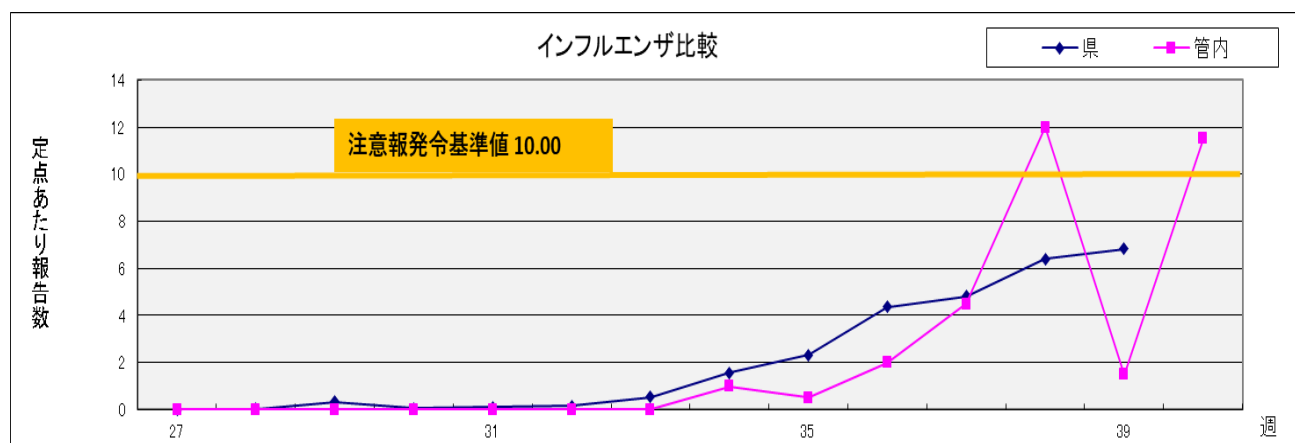
陽性時の対応

- ①陽性通知（食品・調理取り扱い業務より外れる）
- ②医療機関受診（医師の診断を受ける。病院から保健所に届出（三類感染症））
- ③治療・待機（必要に応じて抗生剤の服用、一定期間の自宅待機）
- ④再検査（陰性が確認できるまで検査を受ける）

感染症分類	病原体
三類感染症 （保健所に届出必要）	腸管出血性大腸菌でベロ毒素陽性（O26、O111、O157）、サルモネラ（チフス菌、パラチフス菌）、赤痢菌
法的規制なし	サルモネラ菌（一般）、ノロウイルス

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生注意報発令！）

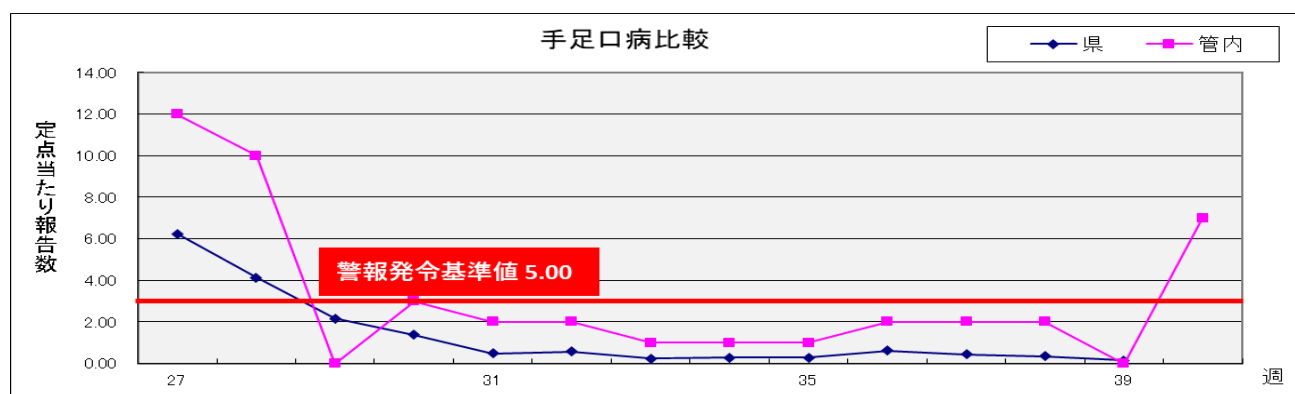


第40週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、23人（定点当たり11.50）でした。
年齢別では、10～14歳（6人）、3歳（4人）、5歳・6歳（各3人）、0～5ヶ月・6ヶ月～11ヶ月・2歳・7歳・9歳・50～59歳・80歳以上（各1人）でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防方法としては、普段から流水と石けんによる手洗いや、ワクチン接種をすること、咳が出る場合は、「咳エチケット」をすること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・手足口病（流行発生警報発令！）



第40週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、7人でした。

年齢別では、2歳（3人）、5歳（2人）、0～5ヶ月・1歳（各1人）の報告がありました。

手足口病は、感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くなく、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

予防法としては、タオルの共用を避け、手洗いをしっかり行いましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 9/28～10/4（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが21人（型不明8人、A型12人、B型1人）、溶連菌感染症1人、COVID-19が1人報告されています。

自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	インフル エンザB型	溶連菌 感染症	新型コロナ 感染症
日置市	4	7	1	0	1
いちき串木野市	4	5	0	1	0
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	8	12	1	1	1